

分子生物学会は 2008 年に創立 30 周年を迎えましたが、これを記念し、

1. **その歴史を留め**(分子生物学に魅せられた人々)、
2. **分子生物学の現在と将来を概観・展望**(21世紀の分子生物学)、
3. **次なる世代にその魅力を伝える**(なぜなぜ生物学)

ことを目的に、以下の3部作の出版を企画いたしました。

(出版社 東京化学同人に直接注文で、会員特別割引)



**<会員特典>** 日本分子生物学会会員が購入する場合、下記の特価となります(送料・税込)。ただし、海外への送品は実費請求となります。会員特典による頒布は東京化学同人への直接申し込みに限ります。書店・大学生協等では扱いません。東京化学同人のホームページ上に申込用紙がございますので、申込用紙をご利用の上、直接東京化学同人へお申込下さい。

## 21世紀の分子生物学

12月中旬  
発売

A5 判 横組 2色刷 約300ページ 定価3360円→**特価2850円**

各分野の第一線で活躍する専門家が、最新の論文情報や知見も含めて易しく簡潔に分子生物学を概説。コラムを豊富に挿入し、鍵となった歴史的な発見や実験などにもふれます。若い読者に“これなら自分にもできる、自分でもやってみよう”と思わせる一冊。



**<生命の分子基盤>** 細胞の構造と機能(大隅良典)／タンパク質、酵素(永田和宏)／代謝調節と代謝病(門脇 孝)／遺伝子とゲノム(小原雄治)／RNAバイオロジー(塩見春彦)

**<生命の維持と継承>** 代謝調節と細胞間情報伝達の分子機序(加藤茂明)／細胞分裂(山本正幸)／がん(山本 雅)／胚発生と細胞分化(近藤寿人)／再生(山中伸弥)／老化(石川冬木)

**<生命のコントロール>** 脳と神経(岡野栄之)／概日時計(近藤孝男)／植物科学の挑戦(島本 功)／感染症と宿主免疫(小安重夫)／ゲノム創薬科学(辻本豪三)

## 分子生物学に魅せられた人々

**発売中** 四六判 縦組 232ページ 定価1680円→**特価1400円**



創立 30 周年を期に、分子生物学が今日に至った道筋を、記憶の奥にしまいこまれてしまう前に記録することは重要と考え、日本の分子生物学の小史を書き留めることにしました。本書は、分子生物学進歩の臨場感を味わっていただけるように、我が国において分子生物学・分子生物学会の創立・発展に貢献した下記 14 名の方々に、現在第一線で活躍中の研究者がインタビューをし、まとめたものです。

富澤純一／岡田吉美／村松正實／志村令郎／吉川 寛／松原謙一／小川智子  
堀田凱樹／柳田充弘／竹市雅俊／谷口維紹／岡田清孝／田中啓二／長田重一

## なぜなぜ生物学

**発売中** 新書判 縦組 202ページ 定価1470円→**特価1250円**

中学生・高校生とその家族、あるいは生物を専攻しなかった社会人の方々がふと思う「いのち」にかかわる「なぜ？」について、分子生物学の最先端で活躍している研究者が対話形式でやさしく答えます。「いのち」の不思議を解く面白さを一人でも多くの人に知ってもらい、次の時代の分子生物学を担う若者の参入を期待します。



**<目次>** 遺伝子とパソコンソフトはどこが違うの？(五十嵐和彦)／なぜ肥満と痩せになるの？(島野 仁)／なぜ親子は似るの？(正井久雄)／なぜ痛くなるの？(花岡文雄)／どうして心臓は左にあるの？(松崎文雄)／雄と雌ってなにが違うの？(諸橋憲一郎)／どうして毎年のようにインフルエンザに罹るの？(永田恭介)／なぜ地球環境にいいことをグリーンというの？(篠崎一雄)／ケガをしてもちゃんとなおるよね！(阿形清和)／クジラはどこから来たの？(岡田典弘)／組換え食品は安全なの？(渡辺雄一郎)／細胞の中って見えるの？(永井健治)／薬はどうやって創るの？(吉田 稔)